

旅と絆

「旅行友の会」会報

第27号(夏号)

発行/(株)センターツーリスト

旅行友の会

2009年8月1日発行



総会会場風景

総会

人とのつながりを財産に

来年までに一千名の会員を

「宝物」が残る旅を

桜の季節に09年度の友の会総会を開いて4カ月。また暑い季節を迎えています。

友の会会員の皆様、おげんきですか。

4月11日(土)の総会には81名が、午前中の落語を楽しむ会には130名と、いずれも昨年を上回る盛況でした。

総会では多数の意見・要望が出されました。

中でも「手軽に行ける

ところを」「価格を安く」

の意見が多く、「秘湯・

温泉巡り」「歴史や文学探

訪の旅」などの希望もあり

りました。

「お土産買わされツア

ーでないのが良い」「平和

のテーマが入っている企

画がいい」と、これまでの

の取り組み姿勢を評価し

ていただいた意見もあり

りました。

皆様のご要望に応えら

れるような企画実現への

ご意見を今後も遠慮なく

お寄せください。

私がセンターツーリス

トの旅に参加するよう

になって8年。

ここの旅の魅力は、な

んといっても「旅を楽しむ

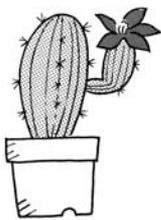
おだけでなく、ご一緒した人とのつながりが財産(宝物)として残っていく」ことです。

友の会会員は現在860名を超えて居ますが、一緒に旅を楽しむ方もっとお誘いして、来年までに1千名の会員にしよう」と総会で申し合わせました。

今年の後半には山歩き、忘年ツアーなど、楽しみな企画もあります。元気にご一緒しましょう(と呼びかけながら、財布の中身をのぞいています・・・)。

センターツーリスト旅行友の会 事務局長

上村 得世



今年も
忘年ツアー



4月の総会では「船で行く釜山の旅(09年10月16日〜20日)」を提案し、例年実施している忘年ツアーの中止を決定。

しかしその後、船会社の運航変更でさらにもう一泊追加の企画に変更せざるをえなくなり、友の会ではなく、会社企画として募集することになりました。

そこで、改めて忘年ツアーが浮上し、水と緑の美しい「蘇州・同里・無錫(12月7日〜10日)」を友の会忘年ツアーとして企画します。

詳細は「旅と絆」秋号に掲載します。



旅の余韻

旅の余韻…旅の余韻…

無言館・松代大本営跡

旅に出て「行ききたかった」無言館。涙をこらえきれませんでした。松代大本営跡のスケールにも驚きました。いくら時間があっても足りない感じの「ちひろ美術館」。大自然のすばらしさを体で味わった上高地。すべって行ってよかった。

(和田 健司)

初めて参加させていだきましたが、他にない和やか雰囲気では前から知人のように思われ、本当に楽しい旅でした。

(栃谷 玉江)



万里の長城

信州は観光、宿、食事そして参加のみなさんとの交流と、今までにない良い旅となりました。行程にはない安養寺「山宣の碑」、明徳寺など歴史にも触れ、センターツーリストならではの旅でした。

(吉川 恵美子)

北京・南京・上海の旅 小椋 芳子

正直、高いツアーだなと思っ
て申し込み
ましたが、内
容は他社では
できない企画で
あり、お料理
もホテルも最
高でしたので納得しま
した。

安い旅行でみじめな思
いをするより、豊かにな
れる旅行でとても良かっ
たです。

南京を毎年企画され
て草の根の運動を広げ、
政府の歴史観を変えさ
せることが重要だと思
います。

また有意義な企画が
あれば体力、年金が許す
限り参加したいと思いま
す。

行った時、日本の軍隊が
行ったあとをたどって個
人的にでも「謝罪の旅」
をしようと思っていまし
た。

今回、この旅のはなし
があり、「これだ！」と思
ってすぐ決めました。

満州事変から後のとこ
ろを全部行けたので自分
としてはとてもよくわか
りました。

特に南京では館長さん
のお話が直接聞けてよか
った。展示などを見るに
つけ「日本は中国の人に
何とひどいことをしたん
だろう」と息が苦しくな
るほどです。

結局、戦争は、人を被
害者にも加害者にもし、
人の命を奪い、人生を狂
わせ、物を壊し、何もし
ないことはない。

やっぱり、9条守らな
きゃ！

原風景の残る 貴州省の旅

以前から中国に行きた
いと思っていきましたが果た
せずに行きました。そこへ
「菜の花畑、段々畑…：中
国の原風景が残っている貴
州省の旅」という誘いに
「ああ、いききたいなあ」と思
い、友人と参加しました。

車窓からの眺めはすば
らしく、菜の花の黄、桃の
花のピンク、梨の花の白に
酔いました。

滝が大好きなんです。
その大好きな滝。しかも
アジア最大の黄果树瀑布
のマイナスイオンを浴び、
虹も加わり幸せな気持ち
になりました。

おいしいお酒とお料理。
これもたまりません。

中国ならではの初体
験もたくさんすること
ができました。楽しい旅
をありがとうございました。

（井手 宣子）

(小川 碧)

(井手 宣子)

第14回山と温泉の旅

風にそよぐ
広大なススキの原を歩く

～曾爾高原と俱留尊山へのお誘い～

曾爾高原は、奈良県と三重県の県境俱留尊山のふもとに広がる広大な高原で、秋にはススキが一面を覆い、昼間はまぶしい太陽の光をうけて銀色の波となつてうねり、夕暮れには金の波となつて揺れるさまは、銀色や金色の波の海を思わせる幻想的な景観が見られます。

周辺には鎧岳・兜岳・屏風岩の曾爾三山があり、なかでも屏風岩は百メートルの絶景が1.5kmも続く奇観です。

曾爾高原は、東海自然歩道が通り、ハイキングルートは歩きやすく、見晴らしがよいので高原散策の好コースです。
○一般コース 11 太良路から東海自然歩道沿いに亀山峠・龜山へ。高低差460m。

○中級コース 11 龜山峠から俱留尊山往復(入山料500円・自己負担)・龜山へ。高低差440m(アップダウンあり)。

「元気でしなやかに人間らしく」
“旅”をしたい <その1>

※いきいき元気お手伝いマン 船井市・辻野忠男さんのシリーズです

「一日3時間を歩く」運動が、あまり広がりません。「時間がとれない」よりも、「しんどい、無理」の声が多数派です。これに耳を傾けましょう。

運動不足解消や、カロリー消費など健康増進面のみを、狭くとらえずです。「歩くこと」は遠くに移動することで、根源的には「人間づくりの土台」です。

歩いて遠くに行き、周りや自然を知り、異文化に接し、視野・経験も広がります。目的や仕事もみつかります。友人・知人もでき、先生や恋人なども見つかり、仲間もできます。旅を楽しみ、舞台や映

画・スポーツなども楽しめ、文化教室で学べ、レストランにも行け、美容やエステも楽しめます。

人らしさや満足感は、「遠くへ行ける」足で満たされるからこそです。

今は車などで移動できますが、元々は徒歩でした。「歩ける」移動できる「こと」のすばらしさを思い起こし、それを大切にする意識で、無理なく歩くことです。

体脂肪も実は、仲間とワイワイ楽しみながらの「ゆったりウォーキング」でより燃えるようです。何よりも自律神経を太くする効果をもつとすべきでしょう。(つづく)

■とき 09年11月5日
■費用 7500円
※申し込み希望者はセンターツアーリストまでお早めに。



友の会
待望の

「囲碁クラブ」発足



和やかな第1回例会

懸案の友の会囲碁クラブ

が発足し、第一回目の例会を去る3月20日〜21日、能勢温泉で行ないました(写真)。

参加者は10人。二級から五段まで二日間にわたり、和やかななかにも丁寧な発止の熱戦が繰り広げられました。

夜は露天風呂のあと、ポタン鍋に舌鼓を打ち、ビールと焼酎で氣勢をあげました。松本社長も激励に駆けつけてくれました。年二回程度を予定して

おり、次回が楽しみです。役員は左記の通りです。

会 長	後 氏
TEL	073-472-5525
事務局	岡田氏
TEL	072-832-3213
	上村氏
TEL	072-633-6791

次回は「さこや」で

秋の例会開催地は旅館

「さこや」に決定しました。この日は、「さこやファンクラブの集い」が開催され、これに便乗することとします。

とき 09年9月26日(土)〜27日(日)

ところ 吉野山(下千本)

旅館「さこや」

会費 1万1千円

集合 「さこや」午後2時

※申し込み センターツーリストまで。

編集長の コーヒーブレイク



センターツーリストの海外旅行に行った時のことです。

レストランで新婚旅行者らしき人が置き引きに遭い、混乱しているところに出くわしました。

結構、日本人はスリとか置き引きのターゲットにされやすい人種のように、再三再四注意喚起されているにもかかわらず、引っかかる人があとを絶たないようであきれてしまいます。

よく見る光景で、土産物屋で物を買うとき、平気で財布の中身を披露する。これでは「私はお金をもってますよ」と、ふれ回っているようなもの。人ごみのなかでの支払い、いきなり財布を出さず、バックの中でこそそと必要な金額だけをだすか、はじめから小額しか持ち歩かないなどして自分の持ち金を絶対見せないくらいの用心さがあってもいいのではないのでしょうか。用心にこしたことはありません。



旅館「さこやファンクラブ」に便乗する

センターツーリスト旅行友の会 会員懇親会ご案内

友の会の皆さん、暑中お見舞い申し上げます。

さて、標題の件ですが、センターツーリストがときどき利用している吉野の旅館「さこや」が、毎年「さこやファンクラブの集い」という一泊懇親会を行っています。これに便乗して、友の会も、懇親会を持とうということになりました。

希望される方は、住所・氏名を記入の上FAXでセンターツーリストへ。先着35名で締め切り。

※但し、相部屋となりますのでご了承ください。

※一法真澄さんのサキソホン演奏も楽しみです。

※近鉄阿倍野駅⇄吉野往復で(特急)2,900円
吉野駅から「さこや」の送迎バスが迎えに来ます。

翌27日はOPで梨狩り&バーベキュー(¥3,500円)

記

とき	2009年9月26日(土)〜27日(日)
ところ	吉野山(下千本)旅館「さこや」
会費	お一人様 ¥11,000円(飲み放題)
締切	満席になり次第